



日本骨髄バンクの現状（平成 23 年 7 月末現在）

	6 月	7 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,019	3,183	386,927	506,997
患者登録者数	263	228	2,832	33,454
移植例数	97	104	-	13,176

■20 歳未満のドナー登録者数

7 月 214 人
合計 15,391 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

7 月新規 122 人
延長 249 人
合計 23,550 人

■7 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,025 人、献血併行型集団登録会／2,091 人、集団登録会／25 人、その他／42 人

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 PBSC Tを含むコーディネート対象ドナーの条件緩和について

当財団では、昨年 10 月に非血縁者間の末梢血幹細胞移植（PBSC T）を導入しましたが、導入当初は安全性・確実性を重視して段階的に拡大していくこととし、第 1 段階として、①非血縁者間での骨髄提供があること、②HLA アリルミスマッチがないこと、③ドナーが PBSC 採取施設へ通院可能（近隣在住）であること、を対象ドナーの条件として、限定的なコーディネートを行っています。

本年 7 月末までに複数例の確認検査が実施され、骨髄・末梢血幹細胞の提供が選択可能なコーディネートの手続き面に問題ないことが概ね確認されたことと、最小限のシステム改修を行ったこと等を踏まえて、第 2 段階として「骨髄提供経験あり」というドナーの条件を外すことにしました。これにより、PBSC T コーディネートの件数が増加することから、担当するコーディネーターの研修を行い、本年 10 月から実施する予定です。

なお、7 月末現在、全国で 29 施設が非血縁者間末梢血幹細胞移植・採取施設として認定されています。

また、来年 6 月頃からの本格稼働（第 3 段階）に向けて、現在、コンピューターシステムの全面改修を行っています。

2 台風の影響によって、凍結した骨髄液の運搬を実施したことについて

8 月上旬、非常に勢力の強い台風 9 号が沖縄を暴風域に巻き込みました。その最中に沖縄で移植が予定されておりましたが、航空機の欠航により、本土からの骨髄液運搬ができない事態が生じました。そのため医療委員会で審議の上、採取した骨髄液を凍結して搬送することを決定し、2 日後に移植施設に運搬し、無事に移植が完了しました。これは採取施設側で骨髄液を凍結し、それを移植施設に運搬するという前例のないケースでした。骨髄液の凍結を保ったままの運搬については、温度管理や搭乗手続き等で難しい面もありましたが、厚生労働省、国土交通省、航空会社、東京都赤十字血液センター・脐帯血バンクのご理解とご協力により実現することができました。患者さんの救命のために迅速にご対応いただいた各関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

3 骨髄提供後、急性 C 型肝炎を発症したドナーについて

本年 4 月 15 日に一報いたしました、ドナーが骨髄提供の約 40 日後に急性 C 型肝炎を発症していることが判明した件につきまして、このたび、本件調査委員会から調査報告が提出されました。概要は次のとおりです。

2 月上旬に骨髄バンクを介して骨髄提供した 30 代男性の方から、3 月下旬、「1 週間前から腰に痛みがあり、強くなっている。腰全体と脇腹の背中側が掴まれるように痛い」との連絡がありました。4 月上旬に近医の内科を受診したところ、肝機能に異常が認められ入院となり、検査を実施しました。

4 月中旬に入院先の主治医より急性 C 型肝炎との検査報告がありました。当財団では、外部の専門医を加えた医師による調査委員会を設置し、採取病院の院内感染の可能性や、ドナーの方の生活状況の確認と調査を行いました。

当該施設に対する現地調査等の結果、院内感染の可能性は否定され、骨髄提供時およびそれに伴う入・通院中に骨髄提供者に C 型肝炎ウイルスが感染したとは考えられないとの結論に至りました。

本件については、本日、安全情報を発出し、プレスリリースを行いました（内容は、財団ホームページに掲載しています）。

4 ブラジルの PBSC T ドナーの死亡事例について

本年 7 月、ブラジルにおいて、末梢血幹細胞提供中の非血縁ドナー（21 歳・女性）に医療事故が発生し死亡した事例が報告されました。

採取のために内頸静脈（首筋の血管）へカテーテルを挿入した際、カテーテルが血管を突き抜けて肺内へ出血をきたし、死に至ったものです。

日本の骨髄バンクでは、内頸静脈からの末梢血幹細胞採取は禁止されていますので起こり得ない事故ではありますが、今後、末梢血幹細胞提供対象ドナーの方へ情報提供してまいります。

地区代表協力医師、調整医師、コーディネーターの皆様には、7 月 26 日に非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設へ発出した「安全情報（海外）」を同封します。「安全情報（海外）」は当財団ホームページ「医師の方へ」からもご覧いただけます。

5 非血縁者間末梢血幹細胞移植診療科・採取施設の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 29 施設です。

新規認定施設については、当財団ホームページ＞患者さんへ

＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

・移植診療科

川崎医科大学附属病院

同左 血液内科

※上記施設は骨髄採取施設・移植診療科としても同時に認定されました。

6 献血ルームへのスタッフ派遣を再開 ～埼玉県の緊急雇用事業～

7 月 25 日（月）より埼玉県の緊急雇用創出基金委託事業（昨年度から開始）である骨髄バンク支援事業が再開されました。県が雇用した説明員が、県内 7 カ所の献血ルームにて献血者に対してドナー登録を呼びかけます。震災の影響などで再開が遅れましたが、今年度は新しく「鴻巣献血ルーム」が加わり、「熊谷献血ルーム」と「所沢プロペ通り献血ルーム」では土曜日にも説明スタッフが常駐するようになりました。

昨年度は 9 月にスタートし、下半期の登録者数は 2,388 名と、上半期の 720 名を大きく上回りました。年間 3,108 名の登録者数は東京都、沖縄県に続く 3 番目で、21 年度の 13 番目（859 名）から大きく躍進しています。

県内献血ルームでの登録受付数は、7 月 25 日からの 6 日間だけですでに 158 名。この数字は上四半期の県内全登録者数 301 名の過半数にも上ります。

徳島県でも 8 月から同様の事業が開始される予定で準備を進めています。

7 「子ども霞が関見学デー」にて子ども向けイベント

8 月 17 日（水）、18 日（木）の 2 日間、子どもたちに政府の仕事を分かりやすく紹介する「子ども霞が関見学デー」が開催されます。骨髄バンクは厚生労働省 2 階講堂において『移植ってなんだろう？ ～命をつなぐリレー～』というテーマで、さい帯血バンク・日本臓器移植ネットワークと合同でのブース展示です。

来場したお子さんには骨髄バンクに関するクイズにチャレンジしてもらい、骨髄バンクについて理解を深める冊子「こつずいばんくってなんだろう」を配布します。

8 住信 SBI ネット銀行 ホームページに骨髄バンクの募金サイト

8 月 9 日より住信 SBI ネット銀行のホームページから、骨髄バンクへの募金ができるようになりました。先月末に新設されたこの預金者向けサイトでは、東日本大震災の義援金をはじめ様々な団体への募金が振込手数料無料で可能です。

住信 SBI ネット銀行 <https://www.netbk.co.jp/wpl/NBGate/i040112CT>

9 「SUPER GT」が今シーズンもレース会場で骨髄バンク支援

今年も「SUPER GT」による骨髄バンク支援活動が実施されます。4 月にアンドレ・クート選手など 3 選手が静岡県立こども病院を訪問し、その後、4 月 30 日、5 月 1 日の富士スピードウェイ（静岡県）から 11 月まで、7 つのレース会場でリーフレット配布や PR 活動が行われます。

昨シーズンは 6 つの会場で約 2 万枚もの「Gift Of Life」が配られ、2 つの会場で行われたドナー登録会では計 52 名の登録がありました。ひと会場で 3 万人～6 万人と日本一の集客を誇る「SUPER GT」のサポートには、大きな効果が期待できます。



10 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	9月15日(木) 17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

ドナーコーディネーター関係者のコーナー

以下は、調整医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

11 骨髄提供後、急性C型肝炎を発症した事例に関する対応について

前項にてお知らせしました「骨髄提供後、急性C型肝炎を発症した事例について」の調査報告を受けて、別紙のとおりコーディネーター上の対応をお願いします。

12 ドナー適格性判定基準の一部変更について

非血縁者間末梢血幹細胞移植・採取導入に伴い、昨年10月より脂質異常症に関する項目（総コレステロール）の適格性判定基準が設定されました。

現在、骨髄または末梢血幹細胞採取対象のドナーについては確認検査時に総コレステロール検査を実施しますが、骨髄のみのコーディネーター対象者については行っておりません。

コーディネーター開始時に問診票に記載があったり、健康資料が提出されることもあるため、ドナー安全委員会において、総コレステロール値に関するドナー適格性判定基準について再度検討しました。

その結果、下記基準に変更になりましたので通知します。

■代謝・栄養疾患

		基 準	
		詳 細	
			BMT PBSCT
脂質異常症	確認検査		(旧)(新)
	総コレステロール	220mg/dl < 要検討	B→削除 B
	総コレステロール	240mg/dl < 不可	B→削除 C
	術前健診時は採取施設判断とする		B B

運用は本年9月1日以降の判定より開始いたします。

13 連絡事項

◆『骨髄バンク団体傷害保険』適用症例一覧（訂正版）の送付について

7月号のマンスリーに同封しました「『骨髄バンク団体傷害保険』適用症例一覧（2011年3月末現在）」について、資料（表）の分割位置が誤っていました。（メール配信分につきましては、正しく分割されています）

郵送対象の方には、8月号マンスリーにて分割位置を訂正した資料を送付させていただきます。なお訂正箇所は、2ページ目の通し番号（58～114）が1ページ目に挿入されている部分です。

お手数をおかけしますが、資料を差し替えていただきますようお願いいたします。